

業種別景況予測

平成30年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「ウールの原料高騰がひどい」「輸入綿糸は為替の影響で値上がりした」と原料高の声が多かった一方で、「新製品の開発に注力している」という経営革新を進める前向きなコメントが寄せられた。			
織維 ファッション			「ニット業界の状況は悪化している」「量販店の売上は悪いようだ」とのコメントが寄せられた。前期と一転、DI値は下向いた。 岐阜のアパレル生産企業の集合体NAPSは順調な様子で、組織間連携の重要性が高まりつつある。			
工業			「原材料及び仕入品が高騰している」との意見が多いが、製品への価格転嫁はマチマチの様子。食品業界では「冷凍食品の需要が高まっている」「小ロットで製造対応できる工場を探している」、ゴム製造業では「特許関係の仕事に重点を切り替えている」とのコメントが寄せられた。			
建設			「改修工事が多い」「元請業者が人手不足を見越して、下請業者の囲い込みが始まっている」とのコメントが寄せられた。全国的には、公共工事が少なく、同業他社との受注価格競争が厳しいほか、鉄鋼や木材などの建設資材の価格や人件費・外注費の上昇により、売上・採算ともに悪化している様子。			
運輸倉庫			「燃料費高騰」「ドライバー不足」との意見が多い一方で、「人材募集の反応が良くなってきている」とのコメントもあった。 また、「今までに取扱いたことが無い商品や事業にも積極的に取り組んでいく」との積極的なコメントもあった。			
金融理財			「相続に対する問合せが非常に多い(土業)」「テナントの募集家賃と借主の希望の家賃が合わないことが多い(賃貸業)」「シャッター付貸ガレージを簡易倉庫としての利用が増えている(賃貸業)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「牛肉、鶏肉の相場が上昇(小売業)」「スマホの普及により時計そのものの需要が減っている(小売業)」「診療報酬の改訂によりジェネリック医薬品の使用比率が増加し、売上減・利益増の予想(薬局業)」「見通しは売上下降予想(機械販売)」とのコメントが寄せられた。			
サービス業			「介護報酬改訂により厳しい(介護業)」「診療報酬の改定と競合院の増加で収益の増加は見込めない(整骨院業)」「高齢客の減少が進み、若年客は増えない(施設運営業)」「仕入原価は上昇しているが価格転嫁すれば客離れが想定される為値上げできない(飲食業)」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成30年7月 ●調査対象企業 292社 ●回答数 148社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援課 TEL 0725-23-1111